



令和3年度プラスチック対策プラットフォームの開催結果について

令和4年3月24日
プラスチック対策検討会

関西広域でのプラスチック対策（プラスチック代替品の開発支援・普及促進、プラスチックごみ散乱・流出抑制等）の取組を進め、地域創生につなげることを目的として、令和3年度は「プラスチック対策プラットフォーム」を3回開催し、意見交換や情報の共有を行いました。

プラットフォームメンバー

関西広域連合構成府県市、(一社)全国清涼飲料連合会、(一社)日本フランチャイズチェーン協会、PET ボトルリサイクル推進協議会、日本チェーンストア協会関西支部

第1回会議 令和3年11月16日(火)

テーマ：各構成府県の「海岸漂着物等対策推進地域計画」と取組施策の情報共有・意見交換

主なプログラム：

1. 話題提供

各構成府県の「海岸漂着物等対策推進地域計画」について
(京都府・大阪府・兵庫県・和歌山県・鳥取県・徳島県)

2. 調査報告

『令和3年度プラスチック代替品の普及可能性調査およびプラスチックごみ散乱状況の把握手法等調査事業について』

<主な意見交換内容>(アンケート結果等より)

- ・ 海岸漂着物等の対策は、府県の枠組みではなく、より広域的な対策が必要。各府県の課題意識や取組等が共有できて大変参考になった。
- ・ 本市は陸域に位置する自治体であるが、プラごみ削減の一つの指標として、流下ごみの減少などを数量で可視化できれば市民への周知・啓発をしていくうえでの訴求資料となる。
- ・ 河川から流入するごみがどの程度あるのか、推計方法がないか考えていたところであり、他の自治体が取られる推計方法にとっても関心がある。
- ・ 他の自治体が実施予定のペットボトル削減や散乱ごみ削減に向けた給水スポットの設置場所の最適化に向けた効果検証や設置場所の効果的な情報発信の取組について、今後情報共有いただき、取組の参考にしていきたい。

第2回会議(プラスチックごみゼロシンポジウム) 令和3年12月23日(木) (※広域環境保全局と共催)

開催趣旨：プラスチックごみについての現状・課題の周知と問題意識の醸成。ごみ削減の取組の情報提供を通じて、事業者、団体、行政および住民による実践行動を促す。

主なプログラム：

1. 事例発表「脱プラ ライフスタイルに向けた取組み」

- ① 「小売店からの脱プラのライフスタイルの提案」(株式会社良品計画 (無印良品))
- ② 「脱プラを実現するためのシェアリングサービスの提供」(株式会社 Nature Innovation Group (アイカサ))
- ③ 「水道事業者からのマイボトルを持ち歩くライフスタイルの提案」(大津市企業局)
- ④ 「様々な主体との連携によるプラスチックごみ削減に向けた取組の推進」(プラスチック対策検討会)

2. パネルディスカッション「ライフスタイルの転換を促すために必要なこと」

- ・ コーディネーター：京都大学大学院 地球環境学堂 准教授 浅利 美鈴
- ・ パネリスト：事例発表者4者 + 京都大学エコ〜るど京大

<主な意見交換内容>(アンケート結果より)

- ・ 非常に面白い取り組み例の紹介であった。いい企画だと思う。
- ・ いいシンポジウムだと思います。もっと沢山の方に広げないともったいないと思う。
- ・ 傘のシェアリングやマイボトルの利用サービスが使いやすいよう、サービススポットの拡充に関西圏全体で取り組んで欲しい。
- ・ 「人の感覚に訴える」がヒントになりました。行動変容は困難なものレジ袋有料化もこれまでの地道な取組の賜物での成功例。今後、国を挙げて同様の取組ができないか。「人の感覚に訴える」地道な取組が将来の行動変容に繋がると信じている。

第3回会議 令和4年3月7日(月)

テーマ：プラスチック代替品開発の事例紹介と各参加団体の取組事業の情報共有・意見交換

主なプログラム：

1. 話題提供

「高機能性生分解プラスチック『ポリ乳酸』の活用」(協和株式会社)

「ハンガー業界におけるサステナビリティの取組み」(中田工芸株式会社)

2. 調査報告

『令和3年度プラスチック代替品の普及可能性調査およびプラスチックごみ散乱状況の把握手法等調査事業結果について』

3. 情報共有

各参加団体における令和3年度の取組事業と令和4年度の新規事業について

<主な意見交換内容>(アンケート結果等より)

- ・ 様々な業界において、特色のある取組が行われていることを知ることができてよかった。
- ・ 企業とは取組紹介だけでなく、連携事業の提案についての話し合いが持てれば良いと思う。
- ・ 生分解性プラスチックは今後更に関心が高まると思われる。話題提供のあった事業者の技術は様々な製品に活用可能と聞き、今後の展開に注目していきたい。
- ・ プラスチック代替製品は画期的で素晴らしい製品である一方、プラスチックにはない欠点が存在するものと感じる。引き続き、プラスチック対策検討会が消費者や有識者にアンケート等を実施し、その結果をメーカーにフィードバックすることでより良い製品の開発が加速して欲しいと感じた。